

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

（多治見駅周辺地区）

令和7年3月

岐阜県多治見市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる 確定値	計測時期	フォローアップ 時点での 達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・ 確定の別		目標 達成度	1年以内の 達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	JR多治見駅乗車人数	千人/年	4,855	4,840	4,126	確定		△	あり		4,146	R6年10月	△	-	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業等により、人口減少に伴う乗車人数の減少を抑制する想定であったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車人数が落ち込み、目標達成に至らなかった。一方、行動制限の緩和など新型コロナウイルス感染症の影響が薄れたことや、マンション整備により居住人口が増加したこと、更にホテルの整備や駅南交通広場などの基盤整備により、多治見駅周辺の利便性が高まったことから、回復傾向にあり、フォローアップ時には事後評価時の推計値よりも増加した。今後も交流人口の増加などの効果の波及が求められる。
指標2	営業店舗数	店	146	146	141	確定		△	あり		148	R6年10月	○	-	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業等により、過去の推移で減少傾向にあった営業店舗数を維持する想定であったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により営業店舗数が落ち込み、事後評価時には目標達成に至らなかった。一方、行動制限の緩和など新型コロナウイルス感染症の影響が薄れたことや、マンション整備により居住人口が増加したこと、更にホテル及び商業業務棟の整備や駅南交通広場などの基盤整備により、多治見駅周辺の利便性が高まったことから、回復傾向にあり、フォローアップ時には事後評価時から7軒増加し、目標達成に至った。居住数増加に波及して、新規店舗が増加し、駅前の拠点性がより高まった。今後も商業業務棟のテナント誘致を支援することで更なる効果の波及が求められる。
指標3	居住人口	人	5,379	5,540	5,786	確定		○	あり		5,806	R6年10月	○	-	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業におけるマンション整備や、その周辺地区でのマンション建設が増加したことにより、駅周辺の人口集積が促進され、居住人口増加に直接つながった。また、道路事業（多治見駅南地区（（都）多治見大畑線））、ペDESTリアンデッキ、駅南交通広場の再整備など、多治見駅南地区の一体的な整備により、まちのにぎわいづくりの「顔」となる拠点が形成された。駅周辺に快適な空間や利便性が向上したことで、人口集積を促進し、数値目標達成につながったと考えられる。マンション入居が落ち着いたと考えられるフォローアップ時にも、事後評価時から居住人口が増加しており、整備効果が継続していると考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地価	円/㎡	103,600		107,500	確定				113,000	R7年3月		-	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業と合わせて、道路事業(多治見駅南地区((都)多治見大畑線))、ベデストリアンデッキ、駅南交通広場の再整備など、多治見駅南地区の一体的な整備により、まちのにぎわいづくりの「顔」となる拠点形成が図られたことで、まちの魅力が高まり、地価上昇につながったと考えられる。フォローアップ時にも事後評価時からほぼ同様の割合で上昇しており、整備効果が継続していると考えられる。
						見込み	●								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	定住・交流人口のさらなる増加及び営業店舗数の 回復促進	・JR多治見駅連携観光イベント事業(美濃焼祭、駅モ－ ル) ・大道芸見本市(たじみ陶器まつり関連事業) ・駅南・駅北おまつり広場(多治見まつり関連事業) ・イルミネーション等の虎渓用水広場イベント(指定管理委 託)	往來の多い多治見駅周辺でイベントを実施 することで、新型コロナ禍からの観光客回 復につながった。観光地点等で集計した観 光入込客数は、R4年83万人→R5年101万 人と増加した。	新型コロナ禍前の観光入込客数は130～140万人であったため、完全には 回復していないことが課題である。 増加傾向にあるインバウンドへの対応としては、インバウンド推進プロジェ クトチームを発足させ、外国語観光ガイドの派遣や外国人用アンケートなど を実施中。また、新型コロナ禍を経て美濃焼祭や多治見まつりなどの観光 コンテンツのブラッシュアップなどによるさらなる交流人口の増加を目指す。
		たじみビジネスプランコンテストの実施	H30年度からコンテストを実施。コンテスト 応募者のうち、R4年度までに49の事業所 が開業。そのうち、16事業者が中心市街地 で開業した。R5年度は4事業者が中心市街 地で開業し、郊外で1事業者が開業した。 R6年度も3事業者が中心市街地で開業予 定である。 タジコンサポート隊による支援により中心 市街地に店舗が増えてきている。	コンテストのグランプリには、開業及び出店を条件に賞金を授与するため、 営業店舗数の増加につながる。また、コンテストに参加することで出店・創 業に対する徹底的なブラッシュアップ(事業計画・収支計画の作成、物件相 談、プレゼン発表練習等)のサポートを受けられるため、グランプリでなくとも 市内で多くの方が出店・創業をしている(全応募者数の4割)。 さらに、創業後の事業者に対して事業拡大に寄与する更なる投資を補助す るフォローアップ補助金交付事業を実施することで、事業者の伴走サポート をしている。 課題として、空き物件の状況把握及び整備、多様化しているスタートアップ ビジネスをブラッシュアップ対応できるサポート体制の強化が必要であり、 今後のコンテストの在り方について、現在検討している。
	多治見駅を中心とした基幹的公共交通の維持	公共交通の利用を促すバスチケットの配布	65歳以上の市民に、市内で運行するバス で利用できるバスチケット3,000円分(100円 ×30枚)を支給。R6年10月1日から利用可 能。効果は測定中である。	公共交通の利用を促すために、チケットの受取率、使用率の向上を図る。 具体的には、①R7年度から対象者全員へ引換券(ハガキ)を発送。広報紙 や市HP等のPRでは情報が届かなかった市民へのアプローチを実施。② チケットの使用率を向上させるため、多治見市の公共交通パンフレットを作 成し、市内の公共交通を広く周知していく。③対象交通機関のルート変更や 拡大等を検討する。
		バス路線本数やダイヤの適宜見直し	回送便を実車に転用することで60便の増 便となった。	利用状況調査を実施し、その結果を基に事業者に提案する。自主運行バス については市民の利用促進を図るため、運行ルートの変更や停留所の新 設等見直しを図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地のにぎわいの創出及び範囲の拡大	・YONDAY(虎渓用水広場のブックイベント) ・コメヘス(米に特化したイベント。R5年は虎渓用水広場、 R6年は本町オリベストリート) ・たわけまるけ(イルミネーションに合わせたマルシェイベン ト)	広域からの集客を見込む美濃焼祭等の大 きなイベントに加えて、主に市民を対象と した多治見駅周辺でイベントを随時開催す ることで、賑わいを創出し中心市街地を活 性化させた。 なお休日の通行量調査は、R4年は駅北 7,485人・駅南7,371人、R5年は駅北8,018 人・駅南8,280人で増加した。	駅周辺の賑わいは一定程度達成できている。駅南の商業施設に空きテナ ントがあるが、新たなキーテナントが出店したため、賑わいをもっと創出で きる余地がある。 今後も現在実施しているイベントの改善や、より駅前の賑わいを周囲に波 及できる新規イベントを実施して、さらなる賑わいを創出し、中心市街地全 体の活性化を図っていく。
		・コメヘス(米に特化したイベント。R5年は虎渓用水広場、 R6年は本町オリベストリート) ・まちなか美術館(店舗や施設で美濃焼等を展示。美濃焼 祭に合わせて本町オリベストリートで開催) ・びしょびしょ祭り(水を掛け合うなど暑い夏を楽しむイベン ト。花火大会に合わせてながせ商店街で開催) ・プラティ多治見イベント(美濃焼祭に合わせた呈茶・十二 人展、こどもっちパークOPイベント等)※市は協力	駅前から商店街等へと続くまちなかエリア でイベントを実施し中心市街地を活性化さ せた。また、花火大会や美濃焼祭の関連 事業として実施することで、中心市街地を 回遊してもらうことができた。 なおまちなかエリアの休日の通行量調査 は、R4年は18,283人、R5年は19,249人で増 加した。	まちなかエリアの賑わいにより、市内外からのお客様の市内回遊や周遊は 一定程度達成できている。しかし、商店街に民家が増えるなど課題も多い。 今後も現在実施しているイベントの改善や新規イベントを実施して、さらなる 賑わいを創出し、中心市街地全体及び多治見市全体の活性化を図ってい く。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-	-	-	-
-	-	-	-